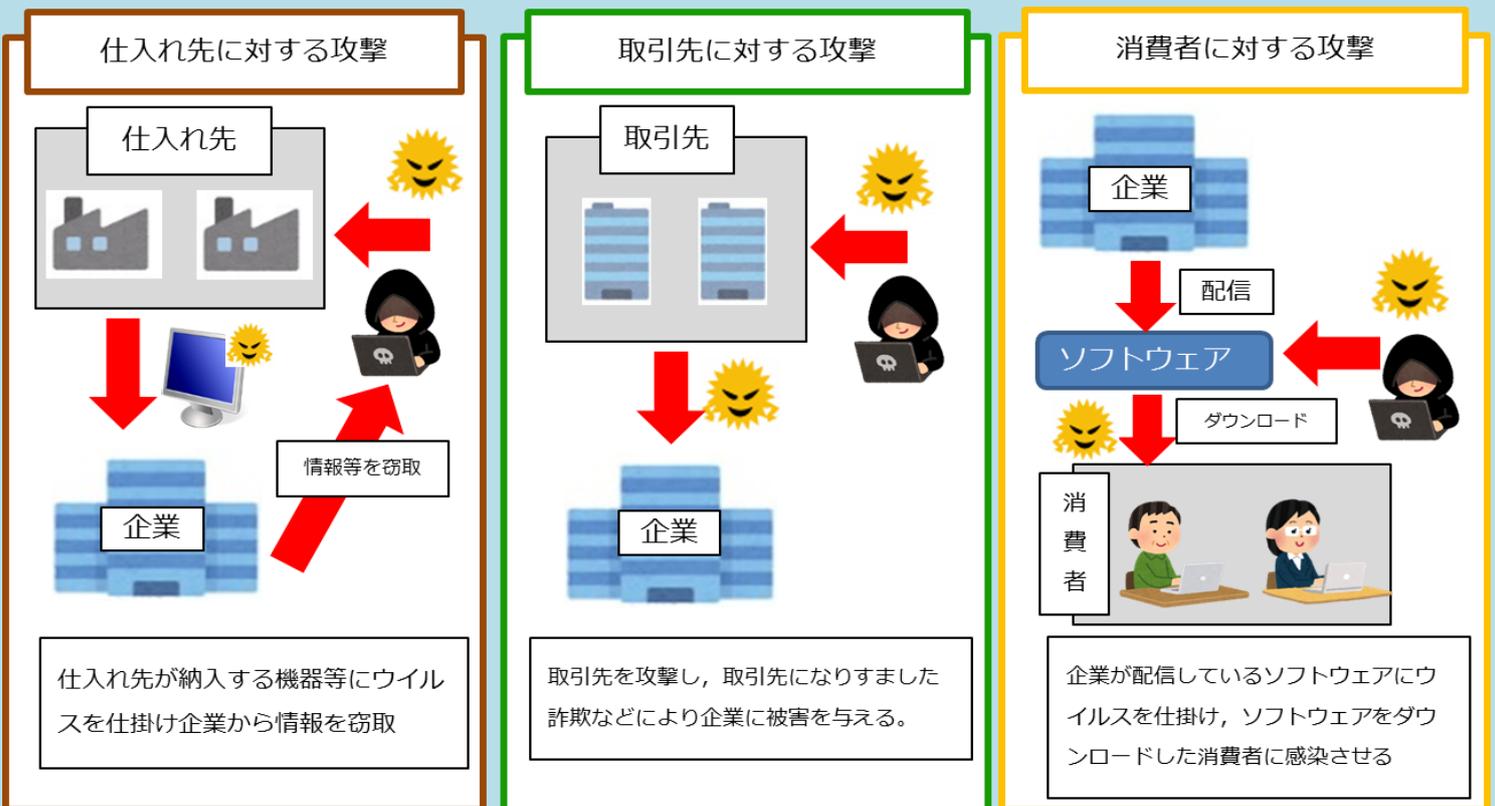


サプライチェーンを悪用したサイバー攻撃に注意

サプライチェーンとは原材料や部品の調達、商品の製造、物流、在庫管理、販売等の一連の流れ及びこれらに関わる企業のことを指します。現代は情報通信技術が発達し、国境の壁を越えて多数の企業がネットワークを通じて繋がっています。犯罪者はサプライチェーンに関わる企業の中から、セキュリティ対策が不十分な企業を攻撃の糸口として侵入し、対象への攻撃を試みます。セキュリティ対策が万全な企業でも取引先等を糸口に内部に侵入される可能性があり、注意が必要です。



具体的事例

- A社の取引先であるB社のネットワークに侵入し、A社のネットワークに接続するためのパスワードをB社から盗み出し、A社に対してサイバー攻撃を実施した。
- 企業が配信しているソフトウェアにランサムウェアを仕掛け、ダウンロードした消費者がランサムウェアに感染し、端末内のデータが暗号化された。
- A社からファンサイト及びチケット販売サイトの委託を受けたB社がC・D社へ再委託したが、C・D社が攻撃され、A社の顧客のクレジットカード情報が流出し、クレジットカードの不正利用が発生した。

被害にあわないために

- 取引を行う際は、取引先のサイバーセキュリティ対策の内容を明確にした上で契約を交わす。
- 重要な情報を取引先に預ける場合は、必要最低限の情報に限定して預ける。
- 取引先の経営状況等を定期的に確認し、サイバーセキュリティに関する安全確保が可能かどうか判断する。
- 委託業務について、自社で対応する部分と委託先企業で対応する部分を適切に切り分ける。

平成28年～平成32年

「めざそう！
安全・安心・日本一」
ひろしまアクション・プラン

運動目標

県民だれもが穏やかで幸せな暮らしを実感できる
日本一安全・安心な広島県の実現

重点項目

- 身近な犯罪被害の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 新たな犯罪脅威への対応

なくそう特殊詐欺被害

アンダー
5 ↓
作戦

なくそう交通死亡事故

アンダー
75 ↓
作戦